

行政視察報告書

経済建設常任委員会委員長 片山竜美

1 日 に ち	令和 6 年 10 月 28 日 (月)
2 視 察 先	兵庫県加古川市
3 参 加 者	【委員長】片山竜美 【副委員長】加藤智章 【委員】亀井芳樹、成田康弘、玉置真一、三輪寿子、林美行 【都市計画部長】河地孝彦【議会事務局】山内祥子
4 調 査 内 容	加古川市スマートシティ構想について
5 所感、主な質疑の内容、提言事項、課題等	【スマートシティ構想全体】 ・ 犯罪発生件数が多くなり、市内に見守りカメラを約 1,500 台設置したことがきっかけで、取組が始まった。 ・ 「スマートシティ」について、市民への理解や浸透が難しく、現在でも理解者は3割ほどと捉えている。 ・ 初めからスマートシティありきで始まったのではなく、「見守りカメラ」等様々な事業について補助金を活用して進めていくうちに、スマートシティ構想として結実していった。 【見守りカメラ、みまもりアプリ】 ・ 希望者には、家が映らないようプライバシーに配慮している。 ・ 犯罪件数も少なくなっている。 ・ みまもりアプリの導入により、認知症高齢者等の徘徊対策や小学生の安全対策につながっている。 ・ 毎年度、数千万円の費用がかかっている。 【Decidim】 ・ Decidim（デシディム）とは、市民などが意見やアイデアを寄せ、議論し、政策に結び付けていくためにスペイン・バルセロナで生まれたツールのこと。 ・ 新しい複合施設の愛称やまちづくりのアイデア募集に役立てている。 ・ 匿名で、市外からでも参加できる。パブリックコメントよりも多くの意見が寄せられることがある。 ・ 導入にあたっては、運用の仕方など、留意すべきことも多く、慎重に行ったほうがよいとのこと。

	【「かこバス」、「かこバス」バスロケーションシステム】 ・ 「かこバス」バスロケーションシステムとは、バスに車載器を搭載し、GPSを利用して車両の位置情報を運行管理者が把握し、バス利用者にスマホやパソコンを通して、バスの運行状況を情報提供するシステムのこと。 ・ バス 14 台が、4つの地域をローテーションして運行している。 ・ さらに小型の「ミニかこバス」を走らせている地域もある。 【オンデマンド交通（チョイソコかこがわ）】 ・ 乗車地から目的地までを最適なルートで送迎を行う、タクシーに準じた利便性と乗合というバスに準じた特徴を兼ね備えたデマンド型交通である。 ・ 「かこバス」が通らない地域限定で採用している。 ・ 財政負担が多く、今後の課題は、さらなる制度の周知や利用者の拡大に向けた取り組みである。 <所見> * スマートシティ構想は、行政手続も含めて、様々な分野に広がっており、今回の視察事項以外のこともお聞きしたいと思った。 * 公共交通については、「乗車人数が少なく廃線になった路線もある」「かなりの財政負担がある」等、多治見市と同様の課題を抱えており、試行錯誤しながら取り組んでいることに共感した。 * 見守りカメラは、高齢化に向かうまちにとっては、かなり魅力的なシステムと感じた。しかし、ランニングコストもかかることから、費用対効果も考えると、導入は慎重に考えないといけない。 * 市民生活が豊かで便利になるよう、国の補助金も上手に活用しながら、結果としてスマートシティ構築を進めていった加古川市の取組は素晴らしいと感じた。
6 写 真 等	

※視察先 1 件に 1 枚作成すること。